



ふるさと学芸員から説明を受ける参加者

ふるさと学芸員で構成された「はらからの会」主催の「四賢婦人のふるさとを訪ね歩くオーキング」が9月17日、開催されました。5月11日に行われ、多くの参加者から好評を得た「四賢婦人ゆかりの地を歩くオーキング」と同じルートを巡り、益城町の偉人「四賢婦人」を多くの人に知ってもらいたいという思いから今回のイ

ベントを開催。参加者はふるさと学芸員からの説明を受けながら、ウォーキングを楽しみました。

主催した会の名称「はらから」とは、友達・仲間・兄弟といった意味の言葉。18人のふるさと学芸員が所属し、本年5月に発足しました。代表の齋藤輝代さんは「旧跡を巡って、親睦を深められたら」と想いを話しました。

旧跡巡りのウォーキング

四賢婦人のふるさとを訪ね歩く

人形劇や物作り体験

わくわくアートフェスタ、児童館で開催

町保健福祉センター多目的室で8月27・28日の2日間、「わくわくアートフェスタ in 益城町児童館」が開催されました。

NPO 法人ボランティア仲間九州ラーメン党（濱田龍郎代表）が町と共催したアートフェスタは人形劇や手話ダンス、さをり織り体験、クッキー作りなどバラエティに富んだコーナーがあり、来場者約150人、ボランティアなどの実行委員約60人が集まりました。

同センター2階調理室で行われたクッキー作りに参加した中原祐貴さん・悠翔くん親子は「家ではなかなかできない体験ができた。初めて参加し楽しかった」と料理体験を楽しみました。



作り方の指導がある各種コーナー（写真は、さをり織り）



贈呈式で謝辞を受ける井関の代表

集めたアルミ缶で...

井関労組青年女性部が車いすを贈呈

8月28日、JAM 井関農機労働組合熊本支部青年女性部（光山和樹代表）から「特別養護老人ホーム花へんろ」（惣領）に車いす1台が贈られました。井関労組青年女性部が6年前から始め、井関農機の工場や社員の各家庭から出たアルミ缶約1トを集め業者に売却。得た基金で車いすを購入し、町内の社会福祉施設などに毎年贈呈することで社会貢献をしています。

光山さんらが「みなさんで使っていただけたら幸いです」と車いすを手渡し、受け取った施設長の増田なみ子さんは「ご厚意に感謝します。施設を利用するみなさんのために大切にさせていただきます」とお礼を述べました。